

事案名	榛東村の事案（群馬県10-1）
分類	廃棄・遺棄 発見・被災・掃海等処理 現在の状況
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・証言〔1〕 ・化学室担当者ノート「戦後における旧軍毒ガス弾等の処理の状況(14.6)」〔2〕 ・「『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査について（報告）」平成15年10月9日〔3〕
資料内容概要	<p>昭和20年8月末、予備士官学校のガス庫にあった弾薬箱30箱程度が相馬原の演習地へ運搬され、壕に埋設された。</p> <p>廃棄・遺棄情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・証言（元前橋陸軍予備士官学校の見習士官）によれば、「昭和20年8月末に、催涙ガス弾・ホスゲン弾・イペリット弾が入った弾薬箱30箱程度を予備士官学校のガス庫から相馬原の演習地（予備士官学校から2kmほど離れており、300mほど高地を上がった所）へ運搬し、深さ幅とも3mほどの壕に埋設した」と記載されている〔1〕。 <p>発見・被災・掃海等処理情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和35年10月19日～21日に群馬県相馬原演習場でガス容器が1個発見されたと記載されている。〔2〕。 <p>現在の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当時の旧軍相馬原の演習地は、現在、陸上自衛隊の相馬原演習場として使用されている〔3〕。